

Sea and Railway

048 星翔高等学校 機械研究部

ふと車窓へ目をやると、そこには一面に美しい海が広がっていた。その景色に惹きつけられ、電車を降りて海へと向かった。

海岸でまず圧倒されたのは、波打ち際に並ぶ無数のテトラポッドだ。自分が想像していたよりもはるかに大きく、その迫力に驚いた。さらに後ろを振り返ると、山陽本線を支える巨大な擁壁がそびえ立っており、あまりの高さに思わず「めちゃくちゃ高い！」と声が漏れてしまった。

テトラポッドに登ると、先ほど車窓から見たあの美しい海が、遮るものなく目の前に広がっている。海と山、そして巨大な構造物が織りなす圧倒的な景色に、思わず時間を忘れて見入ってしまった。